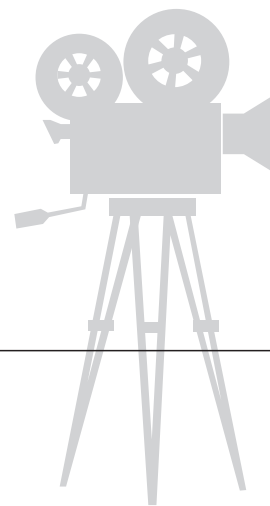


若手映画人による ラオス映画の潮流

橋本 彩



1975年にラオスが社会主義国となって以降、1976年から1988年の間にラオス政府の映画部門は年間平均70本の映画を輸入して映画館で上映していた一方、ラオス人監督による長編映画は2本のみで、ラオス人監督であるソムット・ポルセナとベトナム人監督バム・キー・ナム合作の『ジャール平原からの銃声』(映画リスト番号 no. 1)とソム・オック・ステイボン監督による『ブア・デー』(no.2)が上映されたに過ぎない。海外からの輸入映画が上映されていた間は映画も人気の娯楽であったようであるが、その後、政府映画部門によるプロパガンダ映画が主流になると、映画の人気は急速に衰退し、2000年までにはほとんどすべての映画館が閉じられた。2000年代初頭に存在していた映画製作会社は政府の映画部門を除けばアヌソーン・シリサクダーとドゥアンマニー・スリパンによって設立されたラオ・アート・メディア(Lao Art Media)のみである。映画作品を上映する映画館のない状態では、映画制作の機運が高まるはずもなく、一定の予算がある政府映画部門は変わらずプロパガンダ映画や人々の関心を惹かないドラマ映画を制作し、一方、予算の確保が難しいラオ・アート・メディアは非営利団体の援助を受け、人身売買を禁止する内容や鳥インフルエンザ対策などの教育映画を制作していた。ラオスにおける映画文化はおおよそ20年間、ほぼ沈黙した状態であったといえる。2008年にラオス・タイ合作映画『サバイディー・ルアンパバーン』(no.4)が大ヒット映画となったのをきっかけに、ラオス国内の映画環境に多少の変化が見え始める。しかしながら、国内の映画館はヴィエンチャン、サワンナケート、パクセーの3館が開館したのみであったため、人々が映画館へ足を運び映画をみるという習慣を復活させるにはまだ遠い道のりであった。

一方、映画制作の面では2008年を境に少しずつ盛り上がりを見せ始めた。とくに『サバイディー・ルアンパバーン』で成功を収めたタイ人の監督サックチャイ・ディーナンは同作品の共同監督であったアヌソーン・

シリサクダーが運営するラオ・アート・メディアの協力を得て、その後も『サバイディー・ルアンパバーン』に出演していたラオス女優カムリー・ピラーウォンをヒロインにしたシリーズものを2本制作し、さらにラオスを舞台にした映画を数本制作している(no.24-28)。ディーナンはタイ人の監督であるため彼の作品をタイ映画とみなす人もいれば、作品に使用されるラオス語の割合が多く、舞台がラオスであればタイ人監督の作品であったとしてもラオス映画とみなす人もいる。彼の作品の中でも『サバイディー・ルアンパバーン』とラオスの幽霊を題材にした『赤いスカーフ』(no.27)はラオス映画とみなす人が多いようである。

ラオス人監督によるラオス映画で近年注目されているのは、2011年にラオス初のスリラー映画『アット・ザ・ホライズン』(no.7)を手掛けたアニサイ・ケオラと2012年にラオス初のホラー映画『チャンタリー』(no.9)を手掛けたマティ・ドゥである。ケオラはオーストラリアのモナシユ大学でマルチメディアデザインを専攻した後、タイのチュラロンコーン大学大学院で映画の修士号を修了している。修士号取得の際に制作した『アット・ザ・ホライズン』をきっかけに、2011年、ケオラは映画制作に情熱をもつ若いラオス人たちと共にラオ・ニュー・ウェーブ・シネマ(Lao New Wave Cinema)という映画製作会社を設立した。一方の注目株マティ・ドゥは、アメリカ・ロスアンゼルス育ちのラオス人である。メイクアップアーティストとして欧米の映画制作に携わっていたが、2010年にアメリカ人の夫と共にラオスへ渡り、ラオ・アート・メディアに所属する初のラオス人女性監督となった。

いずれも同時期にそれまでのラオス映画にはなかった新しいジャンルの作品を手がけようと、厳しいラオスの検閲をくぐり抜け、意欲的な作品を作り出している。ケオラは、政府が映画作品に描くものとしてはタブー視する暴力や銃などを作品に登場させ、ドゥは、政府がマルクス主義には適さないとするラオス人の精霊信仰を作品で扱った。いずれの作品も検閲の

表 ラオス映画一覧

No.	日本語タイトル	原題	英語タイトル	ジャンル	監督	制作年	制作国	言語	日本国内での公開上映	制作会社
ラオス人監督によるラオス映画作品										
1	ジャール平原からの銃声	ສຽງປືນ ຈາກ ທົ່ງໄທ	The Sound of Gunfire from the Plain of Jars	Drama/War	Somchith Pholsena, Pham Ky Nam	1983	ラオス	ラオス語	未公開	Department of Cinema
2	レッド・ロータス	ບົວແດງ	Red Lotus	Drama/War	Som Ok Southiphone	1988	ラオス	ラオス語	アジアフォーカス・福岡国際映画祭(1994)	Department of Cinema
3	我を忘れて	ລິມຕົວ	Wrongfulness	Drama	Padit Lattanabunnyan, Chanthon Phanuvong	2004	ラオス	ラオス語	未公開	Department of Cinema
4	サバイディー・ルアンパバーン	ສະບາຍດີ ຫຼວງພະບາງ	Good Morning Luang Prabang	Romance	Anousone Sirisackda, Sakchai Deenan	2008	ラオス	ラオス語、タイ語	未公開	Lao Art Media, Spata
5	兵士になりたい	ຢາກເປັນທະຫານ	Want to be Soldier	Drama	Khamphao Vannavong	2009	ラオス	ラオス語	未公開	Department of Cinema
6	ただ愛だけを	ຂໍພຽງຮັກ	Only Love	Drama	Anousone Sirisackda	2010	ラオス	ラオス語	未公開	Lao Art Media
7	アット・ザ・ホライズン	ປາຍທາງ	At the Horizon	Drama/Thriller	Anysay Keola	2011	ラオス	ラオス語	未公開	Lao New Wave Cinema
8	春が来る前に	ກ່ອນລະດູບານໃໝ່ຈະມາເຖິງ	Spring in Return	Drama	Vongchith Phommachack	2012	ラオス	ラオス語	未公開	Department of Cinema
9	チャンタリー	ຈັນທະລີ	Chantaly	Horror	Mattie Do	2013	ラオス	ラオス語	未公開	Lao Art Media, Sleepy Whippet
10	ハック・アム・ラム	ຮັກອໍ່ຫລໍ່	Huk aum lum	Romance/Comedy	Phanumad Disattha	2013	ラオス	ラオス語	未公開	Billion Eyes Film, Hemon Studio, Lao New Wave Cinema
11	これぞ愛	ມີແທລະຄວາມຮັກ	Big Heart	Romance/Comedy	Mattiphob Douangmyxay	2013	ラオス	ラオス語	未公開	Lao Movie Makers
12	アイラブ・サワン	ສະຫວັນຂ້ອຍຮັກເຈົ້າ	I Love Savahn	Romance/Comedy	Bounthong Nhotmanhkong	2013	ラオス	ラオス語、日本語	未公開	不明
13	私の先生	ຄູຂອງຂ້ອຍ	My Teacher	Drama	Niyom Wongpongkham	2014	ラオス	ラオス語	未公開	Khon Kaen University, I-san film
14	ハック・イーリー	ຮັກອີຫລີ	Really Love	Comedy/Horror	Phoumsana Sirivongsa	2014	ラオス	ラオス語	未公開	Kheoheang Production
15	彼女の心	ຂວັນນາງ	Khuan Narng	Drama/Romance	Somphong Phondy	2014	ラオス	ラオス語	未公開	Department of Cinema
16	ヴィエンチャンの恋	ຮັກມີທີ່ວຽງຈັນ	Vientiane in Love	Drama/Romance	Vannaphone Sithirath, Anysay Keola, Xaisongkham Induangchanthy, Phanumad Sisattha	2015	ラオス	ラオス語	未公開	Lao New Wave Cinema
17	ノイ	ນ້ອຍ	Noy :Above ItAll	Drama/Romance	Anysay Keola	2015	ラオス	ラオス語、英語、モン語	未公開	Lao New Wave Cinema
18	アイラブユー	ຂ້ອຍຮັກເຈົ້າ	I love You!	Romance/Comedy	Thavisack Thammavongsa	2015	ラオス	ラオス語	未公開	TK Enter Production
19	ハック・イーリー2	ຮັກອີຫລີ2	Really Love 2	Comedy/Horror	Phoumsana Sirivongsa	2015	ラオス	ラオス語	未公開	Kheoheang Production
20	しこり	ຕິກຄ້າງ	Those Below	Drama/Short	Xaisongkham Induangchanthy	2015	ラオス、アメリカ	ラオス語、英語	未公開	Lao New Wave Cinema
21	愛しい従妹	ນ້ອງຮັກ	Dearest Sister	Drama/Horror	Mattie Do	2016	ラオス、フランス、エストニア	ラオス語、エストニア語、フランス語、タイ語	未公開	Lao Art Media, Screen Division, Orée Films
22	ルイスとバイトーンの恋	ຄວາມຮັກ ຫລຸຍ ໃບຕອງ	Louis Loves Baitong	Romance/Comedy	Thavisack Thammavongsa	2016	ラオス	ラオス語	未公開	TK Enter Production
23	永久の愛	ຮັກຊົ່ວນິລັນດອນ	Love Forever	Romance	Sonexay Keomanivong	2016	ラオス	ラオス語	未公開	不明
サックチャイ・ディーナン監督作品										
24	サバイディー2 バクセより愛をこめて	ສະບາຍດີ 2 ບໍ່ມີຄຳຕອບຈາກປາກເຊ	From Pakse with Love	Romance	Sakchai Deenan	2010	ラオス	ラオス語、タイ語	未公開	Lao Art Media, Laostar Channel, Spata film
25	ブンタン	ບຸນທັນ "ຄົນດີທີ່ເຂົາລົມ"	Bounthan:Lost in the City	Romance/Comedy	Sakchai Deenan	2011	ラオス	ラオス語	未公開	Lao Art Media

表 ラオス映画一覧(続き)

No.	日本語タイトル	原題	英語 タイトル	ジャンル	監督	制作 年	制作国	言語	日本国内 での 公開上映	製作会社
サクチャイ・ディーナン監督作品(続き)										
26	ラオ・ウェディング	ສະບາຍດີ ວັນວິວາ	Lao Wedding	Romance	Sakchai Deenan	2011	ラオス	ラオス語、 タイ語	未公開	Lao Art Media, Laostar Channel, Sparta film
27	赤いスカーフ	ຜ້າພັນຄໍແດງ	Red Scarf	Horror	Sakchai Deenan	2012	ラオス	ラオス語	未公開	Sparta film
28	恋しくて	ຄິດເຖິງທຸກຄົນ	Always on My Mind	Romance	Sakchai Deenan	2012	ラオス	ラオス語、 タイ語	未公開	Lao Art Media, Sparta film
タイ・ラオス合作映画										
29	日曜13時	ບ່າຍໂມງ ວັນອາທິດ	13:00 Sunday	Comedy/ Horror	Bis Srikasem, Pume Peerabun	2013	タイ、 ラオス	タイ語、 ラオス語	未公開	Lao Art Media, Shine Entertainment
日本・ラオス合作映画										
30	ラオス 竜の奇跡	ສາຍນ້ຳລາຍ	The River Flows	Drama/ Romance	熊澤誓人	2016	日本、 ラオス	ラオス語、 日本語	未公開 (2017年 公開予定)	ジャパン・ラオ ス・クリエイティ ブ・パートナー ズ, Lao New Wave Cinema
海外の監督によるラオスが舞台となっている映画										
31	不発弾	Bombies		Documentary	Jack Silberman	2002	アメリカ	英語	未公開	Lumiere Productions
32	裏切り	The Betrayal: Nerakhoon		Documentary	Ellen Kuras, Thavisouk Phrasavath	2008	アメリカ	英語、 ラオス語	未公開	The American Documentary
33	明日の百より 今日の五十	ສະບັບແນມນອນກ່ວາ ມື້ອື່ນສອງເທົ່າ	Today is Better than Two Tomorrows	Documentary	Anna Rodgers	2009	アイルラ ンド	ラオス語	未公開	Crossing the line films, Irish film board
34	トゥクトゥク	Tuk Tuk		Drama	Kiyé Simon Luang	2012	フランス	フランス語、 ラオス語	未公開	Shellac Sud
35	ロケット	ບັງໄຟ	The Rocket	Drama	Kim Mordaunt	2013	オースト リア、タ イ、ラオス	ラオス語	未公開	Red Lamp Films
36	ラオス 無心に ボールを追って ～国際ユース サッカー大会 初出場!～	ຢູ່ບ່ອນທີ່ປອດໄພກ່ວາ	On Safer Ground	Documentary	Hedley Dindoyal, Stuart Ryan	2013	イギリス	英語	NHK BS世界 のドキュメン タリー (2014年放送)	A Parlourwood Production
37	バナナパンケー キともち米の子 供たち	Banana Pancakes and the Children of Sticky Rice		Documentary	Daan Veldhuizen	2015	オランダ、 ラオス	ラオス語、 英語、 フランス語、 オランダ語、 ヘブライ語	未公開	Viewpoint Production

後、ある程度の修正を迫られ、ラストシーンを変更しているが、そうした妥協を受け入れながらも、それまではタイの影響が強いコメディやメロドラマに偏った映画しかなかったラオス映画界に新風を吹き込んだのである。

また、2009年より始まった首都ヴィエンチャンにおける国際映画祭ヴィエンチャンナレや2010年より開催のルアンパバーン映画祭がラオス映画界を後押しした。ヴィエンチャンナレでは最終日に短編映画コンテストが行われ、ラオスの若手映画人の発掘に一役買っている。そしてルアンパバーン映画祭ではラオス人監督による長編映画が毎回数本上映されている。こうした2つの映画祭が両輪となって映画制作に興味のあるラオス人に機会を与え、またDSLR技術の発展が低予算での映画制作を可能にしたことで、ラオス人監督による映画作品が近年増えつつある。実際、

2008年から2011年までは年間に制作されるラオス映画は1本という状態であったが、2012年以降は年間平均3本のラオス映画が制作されている。

こうした潮流を受けて、2005年時点でヴィエンチャンに1館しかなかった映画館は、2015年にタイ資本のメジャー・シネプレックス・グループが5つのスクリーンをもつシネコンを設立したのをきっかけに、翌2016年には唯一の映画館であったITECCの映画館も新しいITECCモール内にシネコンとして生まれ変わり、映画館の環境改善と共に映画館へ足を向ける観客が若者を中心に増えている。しかしながら、ラオス映画が上映される期間はほとんどの場合10日から2週間程度であるため、これらのシネコンで上映される映画の多くは年平均3本程度の供給しかないラオス映画ではなく、輸入が再開されたタイ、アメリカ、韓国、日本の映画で占められている。特に多くのラオス人は

表 ラオス映画一覧(続き)

No.	日本語タイトル	原題	英語 タイトル	ジャンル	監督	制作 年	制作国	言語	日本国内 での 公開上映	製作会社
海外の監督によるラオスが舞台となっている映画(続き)										
38	リバー	River		Drama/Thriller	Jamie M.Dagg	2015	カナダ、 ラオス	英語、 フランス語、 ラオ語、 タイ語	未公開	REDLABdigital, Lao Art Media, Living Films
39	ロスト・イン・ ラオス	Lost in Laos		Drama	Jonathan Kray, Vincent Lodder	2015	オランダ、 ラオス、タイ、 ベトナム	オランダ語、 英語、 ラオス語	未公開	Franks's Garage
40	ボーダー・ ブライド	Border Bride		Documentary	Wang Bing	2016	香港、中国	ラオス語、 中国語(雲南 方言)	未公開	Chinese Shadows
海外の監督によるラオスに関連する映画										
41	チャン(象)	Chang		Documentary	Merian C.Cooper, Ernest B. Schoedsack	1927	アメリカ	英語(無音声・ 字幕)	不明	A Cooper- Schoedsack Production
42	侵略	The Ugly American		Adventure/Drama	George Englund	1963	アメリカ	英語	劇場公開 (1963年)	Universal International Pictures
43	東北タイの子	ลูกอีสาน		Drama	Vichit Kounavudhi	1983	タイ	ラオス語	タイ映画祭 (1990年)、 爆音映画祭 (2106年)	Five Star Production
44	エア★アメリカ	Air America		Action/Comedy	Roger Spottiswoode	1990	アメリカ	英語	劇場公開 (1991年)	Carolco Pictures
45	ウェルカム・ トゥ・サイゴン	Frankie's House		Biography	Peter Fisk	1992	オーストラリア、 イギリス、 アメリカ	英語	不明	A&E Television Networksほか
46	ディーターの 脱出	Little Dieter needs to fly		Documentary	Werner Herzog	1997	ドイツ、 イギリス、 フランス	英語、 ドイツ語	未公開	Werner Herzog Filmproduktion
47	戦場からの脱出	Rescue Dawn		Biography	Werner Herzog	2007	アメリカ	英語	未公開	Gibraltar Films
48	グラン・トリノ	Gran Trino		Drama	Clint Eastwood	2008	アメリカ	英語、モン語	劇場公開 (2009年)	Matten Productions
49	バンコクナイツ	バンコクナイツ	Bangkok Nites	Drama	富田克也	2016	日本	日本語、 タイ語、英語、 ラオス語、 タガログ語、 フランス語	未公開 (2017年 公開予定)	空族、Flying Pillow Films, Lao Art Mediaほか

タイの映画やテレビドラマを見て育っているため、タイの観客と同じようにラオスの観客もコメディやホラー、アクション映画を好む傾向にある。ラオス映画『ハック・イーリー』(no.14)はこうしたラオス人の趣向をうまく掴んだ映画で大ヒットし、ラオス映画では珍しく続編(no.19)が作られた。

ラオス映画界が現在抱える最大の問題は、映画館の数も映画館にアクセス可能な観客の数も非常に限られているため、ラオス国内の市場だけでは映画を産業として成り立たせることが難しいという点にある。十分な収益を出せない現状では、新しい作品を制作するための費用を捻出することも困難なため、映画制作に必要な専門技術をもつ人材の育成や国際標準を満たす映画制作には欠くことのできない設備の環境整備を進められずにいる。

現在のラオス映画制作に中心的な役割を果たすラ

オ・ニュー・ウェーブ・シネマやラオ・アート・メディアは、ケオラやドゥを中心にラオス映画でありながらも、ラオス国内の市場だけではなく、国外での上映を視野に入れた作品作りをし、ラオスの映画界を盛り上げていこうとしている。その一環としてケオラの所属するラオ・ニュー・ウェーブ・シネマは日本・ラオス国交50周年記念映画『ラオス 竜の奇跡』(no.30)の制作に参加しており、一方ラオ・アート・メディアのマティはカナダとの合作映画『リバー』(no.38)や日本の空族による『バンコクナイツ』(no.49)に制作として参加している。国外の映画人との共同制作を通じて、国外のコネクションを開拓しつつ、ラオス映画界を産業として成り立たせるための活動はすでに始まっている。精力的な活動を続けるケオラの2作目『ノイ』(no.17)もドゥの2作目『愛しい従妹』(no.21)も国外の映画祭での上映が決まっており、今後の更なる展開が期待される。

また、近年ではラオスを舞台とした外国資本の映画制作も増えているため、ラオス国内の映画をとりまく環境が今後どのような展開を見せるのか、検閲の問題も含め楽しみでもある。

参考文献

- Campos, Patrick F., 2016. “The Emergence of a New Lao Cinema: An Interview with Anysay Keola and Xaisongkham Induangchanthy” *Plaride*, Volume 13, Issue 02. <<http://www.plarideljournal.org/article/emergence-new-lao-cinema-interview-anysay-keola-xaisongkham-induangchanthy/>> (2016年11月6日閲覧)
- Campos, Patrick F., 2015. “The Invention of Lao Horror: Interview with Mattie Do” *Plaride*, Volume 12, Issue 02. <<http://www.plarideljournal.org/article/the-invention-of-lao-horror-interview-with-mattie-do/>> (2016年11月6日閲覧)
- Rithdee, Kong., 2012. “Lao New Wave: With a Little Help from Thailand, Young Lao Filmmakers Are Trying to Turn the Light Back on in Their National Cinema” *Bangkok Post* <<http://www.bangkokpost.com/print/289256/>> (2016年11月6日閲覧)